

2010年度 アンピ事業

1. 全県をカバーするネットワークの構築

*国際交流団体実態調査事業（情報センター機能の拡充）

長野県内では様々な国際交流団体による活動が活発に展開されています。

アンピは平成2年に総務省から県の中核的団体としての地域国際化協会として認定されていますが、その役割を十分に果たすため、現在保有している県下の関係団体の情報の更新が必要となっています。

本年度、県と協働で市町村及び関係団体への調査を行い、情報の更新作業を行うこととしておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

*行政や関係団体との連携・協働

国・県・市町村等公的団体が主催する国際交流・国際協力・多文化共生の会議や行事に積極的に参加し協働するとともに、公的団体や国際交流団体などが主催する事業への共催・後援、イベント会場への展示ブースの出展など連携を深めます。

*ネットワーク形成等の支援

地域において新たに国際交流や外国籍県民支援の団体を立ち上げる場合や外国籍県民を支援するネットワークの形成を支援します。

*アンピニュースの発行 発行部数400部/回 発行回数4回

*ホームページの運営

2. 国際交流イベントの開催

*世界文化体験キャンプ

県内小中学校の児童が、外国人参加者とふれあい、歌、言葉、料理、など外国の文化を体験しながら世界観を広げ、国際理解を深めることを目的に6月5日(土)・6日(日)開催します。

対象：県内在住小学校5年生～中学3年生約30人

場所：長野市青少年錬成センター(長野市山田中)

*信州国際塾

(独)国際協力機構(JICA駒ヶ根)との共催により、国際問題に関心のある団体・個人を対象にワークショップ・各種セミナー等を開催し、国際理解教育を推進します。

開催内容・期日は随時お知らせします。

春号目次

2010年度アンピ事業	1
長野県国際課からのお知らせ	3
長野県人権・男女共同参画課 からのお知らせ	4
JICAからのお知らせ	5
情報マップ	6

3. 外国籍県民のみなさんへの支援

*母語による相談体制の充実

多文化共生くらしのサポーター運営委員会の事務局を担当しています。4人のサポーターが母国語で相談に応じます。

対応可能言語	携帯電話 E-mail
中国語	090-7429-6822 moriyama@anpie.or.jp
ポルトガル語	090-7428-3577 notomi@anpie.or.jp
タイ語	090-7427-4648 ida@anpie.or.jp
タガログ語	090-7710-7446 grace@anpie.or.jp

相談時間
平日の午前9時30分から
午後5時30分まで

*外国籍児童就学支援プロジェクトの運営支援

外国籍児童生徒が通う母語教室・日本語教室への運営支援を行い、不就学児童生徒の減少を目指します。

- ・外国籍児童就学援助金 : 保護者の収入に応じて、月2万円または月1万円を交付
- ・母国語教室施設整備助成金 : 設備整備等に対し20万円を限度に助成
- ・教科書購入助成金 : 年1万円を限度に予算の範囲内で支給
- ・日本語指導教室支援事業助成金 : 日本語教室などに、10万円を限度に予算の範囲内で助成

*医療通訳養成講座の開催（自治体国際化協会助成事業）

外国籍県民が医療機関受診の際必要となる医療通訳者を確保するため、通訳技術の向上と医療に関する基礎知識習得のための講座を開設します。

開催日未定 県内1か所 定員30人程度

〔基礎編〕1日

〔スキルアップ編〕4日間

*留学生向け住宅支援

外国人留学生がアパートを借りる際に日本人の保証人を求められますが、保証人を見つけにくい状況にあり、有料で賃貸契約の保証をすることで留学生の住居確保を支援します。

4. 多文化共生社会を目指します

外国籍県民の方々が抱える教育やコミュニケーション上の課題に対応します。

*外国籍生徒進路ガイダンスの開催

長野市、松本市、飯田市、上田市で県教育委員会、各開催地の実行委員会の協力を得て、外国籍生徒の進路について母語で情報提供し、進路の相談に応じます。

*県民の相互理解の促進

- ・通訳者情報を提供します。
- ・翻訳（有料）を受託します。

はじめまして、周夢暁と申します。

今年4月16日から中国からの国際交流員として長野県庁観光部国際課で勤めています。よろしくお願いします。

大学で日本語科に入って以来、日本の生活や文化などを知るたびに深い興味を持ちました。例えば茶道、着物、日本料理……チャンスがあれば、日本の茶道を勉強したいと思っています。

長野県に来て以来、長野の自然環境と雪をいただいた立派な山々の姿に、大変ひきつけられました。さらに、四月はちょうど桜の季節で、初めて本物の満開の桜を見て非常に感動し、とても綺麗だと思いました。また、初めて日本のうどんとそばを食べましたが、特にうどんは大好きです。

私は、子供の頃からずっと日本のアニメーションが大好きです。例えばONE PIECE、名探偵コナンなど……皆さん何か面白いアニメがあったら教えてくださいね。

次に、私のふるさとをご紹介します。

私のふるさは河北省の石家荘市です。人口は約980万人で、長野市と石家荘市は友好都市で、30年間の友好往来の歴史があります。石家荘市は北京から南へ約260kmの位置にあり、「首都南の門」と呼ばれています。



石家荘市は河北省の省都で、全省の経済、文化、政治の中心です。全国各地の鉄道につながっており、“列車の引いてくる都市”とも言われています。石家荘駅がある市中心部が一番にぎやかなところでとても活気があります。また、気候は四季の変化がはっきりしており、様々な自然と観光名所があります。

世界で現存する一番古い石橋「趙州橋」

(約1400年前)



中国歴史名城と呼ばれる「正定府」



「趙州橋」と「正定府」は世界の重要な文化遺産と認められています。

この二つの建物から、色々な面白い神話が生まれています。皆さん興味がありましたら、いつでもお話したいと思います。中国へ旅行に行かれた時は、ぜひ河北省へ行ってください。きっといい思い出になることでしょう。

交流は発展の第一歩だと思います。これから私はここ長野県で一所懸命に頑張っ、中国の文化など様々なことを日本の皆さまにお伝えし、日中友好交流に力を発揮したいと思っています。

どうぞ宜しくお願いします！

法律・行政相談会を開催します。

長野県では、外国籍の方や、長い間海外で生活されていたために、日本語でのコミュニケーションが困難な方のための、法律・行政相談会を県下4地区で開催します。相談は弁護士と行政書士の先生をお呼びして受けてもらいます。相談内容は法律（親権・労働・賠償の問題など）や行政手続き（在留資格・国籍の取得など）に関するもので、相談の秘密は固く守ります。相談を希望する方は事前に（財）長野県国際交流推進協会内『多文化共生くらしのサポーター』にお申し込みください（先着順、完全予約制）。また、相談の際に通訳が必要な方には無料で通訳を手配しますので、申し込みの際にお知らせください。

今年度は8月に上伊那地区、9月に長野地区でも開催を予定しており、詳細が決まり次第、県のHP等でお知らせいたします。

★申し込み先 （財）長野県国際交流推進協会内『多文化共生くらしのサポーター』
（ポルトガル語、中国語、タガログ語、タイ語）TEL 026-235-7186

相談日	相談時間	会場	相談申し込み期限
6月13日(日)	10:00~12:00	松本市南部公民館 松本市芳野4番1号 TEL 0263-26-1083	6月4日(金)
7月18日(日)	13:00~15:00	上田市中央公民館 上田市材木町1丁目2番3号 TEL 0268-22-0760	7月9日(金)

長野県のホームページのURLとメールアドレスが変わりました。

長野県では、平成22年3月1日から下記のとおり、ホームページのURLとメールアドレスを変更しました。なお、平成23年3月31日までは、新旧両方の並行使用期間となり、平成23年4月1日より、新しいURLとメールアドレスに完全移行しますので、よろしくお願いいたします。

	変更前	変更後
ホームページ	www.pref.nagano.jp/	www.pref.nagano.lg.jp/
メールアドレス	所属名@pref.nagano.jp	所属名@pref.nagano.lg.jp

このページに関するお問合せ先
長野県企画部人権・男女共同参画課多文化共生係
TEL 026-235-7165 FAX 026-235-7389
Email jinken-danjo@pref.nagano.lg.jp

JICA × 世界のワンダー



「日本は1年中冬なんでしょう？」
南国でよく質問されました。そんなハズはないんだけど・・・暑かったり寒かったり、天候不順の昨今ですが、スッキリした夏が待ち遠しいですね。

JICA 長野県デスク(ピヤジマ)

026-235-1124(直通)

Jicadpd-desk-naganoken@jica.go.jp

JICAfe (ジャイカフェ) ブースから 異文化によようこそ♪

4月18日(日)、長野マラソンで沸いた南長野運動公園(長野市篠ノ井)では、たくさんのブースが軒をつらねて、料理・ゲーム・展示を楽しむ人で賑わいました。



バングルadeshの衣装を着てパチリ!

長野県国際課のブースの一棟をお借りして、JICAfe では JICA ボランティアの資料の展示、各国料理の試食、試着コーナーを設けました。

アンピの皆様にご協力いただいた試食コーナーは、ブラジル・中国・バングルadeshのお菓子が色とりどり☆興味津々で味わったあとは、レシピを持ち帰る学生さんも多くいらっしゃいました。

食から入る異文化体験、なかなかオツなものですよ(^^)

世界のチカラを日本の子どもたちへ

JICA ボランティアは帰国後、海外での経験を社会に還元する一環として、学校や自治体への出前講座を行なっています。

それぞれの派遣国の生活の様子、どんな活動をしてきたか、その国からどんなことを学んだか、日本の皆さん、特に子どもたちに伝えたい! そんな思いで OB たちが講演に回っています。

先日4月21日、長野市の文化女子付属高校では、2年生の進路ガイダンスの講師として、H19年度ブルキナファソ派遣の宮澤久美子さん(下諏訪町出身)が赴きました。

異文化の中で困難に向き合ったときの経験、夢を叶えていく勇気について、協力隊の体験をもとに話されました。

熱心に聞いていた高校生、進路に悩んだとき、遠い国からのメッセージを生きる力に変えて、がんばってほしいですね。





～アフリカの子どもたちが、夢いっぱい絵を描きました～

長野県出身の協力隊員が、現地での活動の一環として、子どもたちとの絵の制作に取り組みました。「あなたにとって大切なものは何ですか？」この問いかけに、アフリカの子どもたちは何を描いたでしょうか。

子どもたちの絵と共に、現地の隊員の活動の様子、生活の風景などの写真を展示いたします。

ぜひこの期間にご覧になってください。



(イメージ)

アフリカからのメッセージ～協力隊員が出会った子どもたち～

2010年 6月22日(火)～30日(水)

長野県庁 1階ロビー

以降、7月～8月にかけて、松本市・岡谷市などで順次実施していく予定です。

日程が決まり次第、JICA 駒ヶ根のHP 等でお知らせいたします。

JICA 駒ヶ根：<http://www.jica.go.jp/komagane/>

お問い合わせは、JICA 長野県デスク・美谷島まで

026-235-1124 (直通)

翻訳します

(財)長野県国際交流推進協会では、翻訳業務(有料)を行なっています。

翻訳：市町村・医療機関(県機関は除きます)、企業や個人様からの依頼を受付けています。

各種証明書、国際交流・多文化共生にかかわる簡易な手紙、メッセージ、案内文などで高度な専門的な内容は除きます。

※権利、訴訟等利害関係にかかわる書類の翻訳は受けられません。

その他詳細につきましては、アンピ事務局までお問い合わせください。

賛助会員を募集しています

当協会では県民の幅広い参加のもとに国際交流事業を進めていくため賛助会員制度を設けております。長野県の国際交流の進展、多文化の共生にむけて、賛助会員としての参画をお願いします。

【年会費】・法人または団体 1口 10,000円 ・個人 1口 3,000円

【特典】・アンピニュースの送付 ・アンピ主催講座の割引 ・協会事業への参加案内など

【申し込み・問い合わせ】アンピ Tel:026-235-7186 FAX:026-235-4738

E-mail: mail@anpie.or.jp